

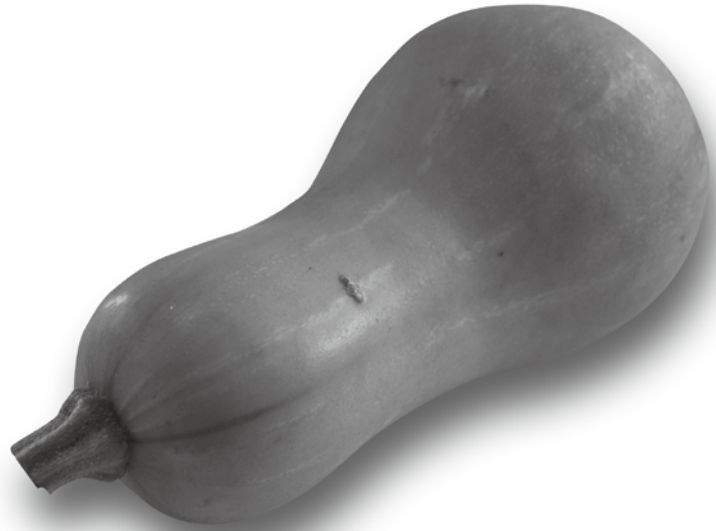
ヤクザも農家も世界で戦え  
TPPを恐れるな！

業 脳

エコファーム・アサノ

発想力

Thinking Power



日

本がTPP（環太平洋パートナーシップ協定）に参加するかしないか、ユースを賑わしてるな。関税が撤廃されて海外から安い農産物が入ってきたら、日本の農業が大打撃を受けるって騒いでるけど、そんなもん何を今さらつべこべ言ってるんだって話よ。海外から入ってくるのを怖がって悲観的になってるヒマがあったら、付加価値の高い農産物を輸出できるメリットを考えた方がよっぽどいいよ。

だって2050年になれば、日本の人口は1億人くらいまで減っちゃうんだよ。いくら頑張ったって、全体の消費量が少なくなるじゃんよ。一方で世界的に見れば、その頃の人口は100億人に増えるって話でさ。結局は農家も外に目を向けなきゃ仕方がなくなるんだよ。だったら今から海外に売ることを考えた方がいいじゃんよ。今回のTPPはいいきっかけだよ。

そもそもウルグアイ・ラウンドの時に、将来も同じようなことが起こり得るなんてことはわかってたわけじゃん。それなのに喉元過ぎれば熱さを忘れちまって、場当たりの何も考えずにやってきたから、今になって慌てるだけじゃんよ。

韓国なんか長い目で見て戦略的に

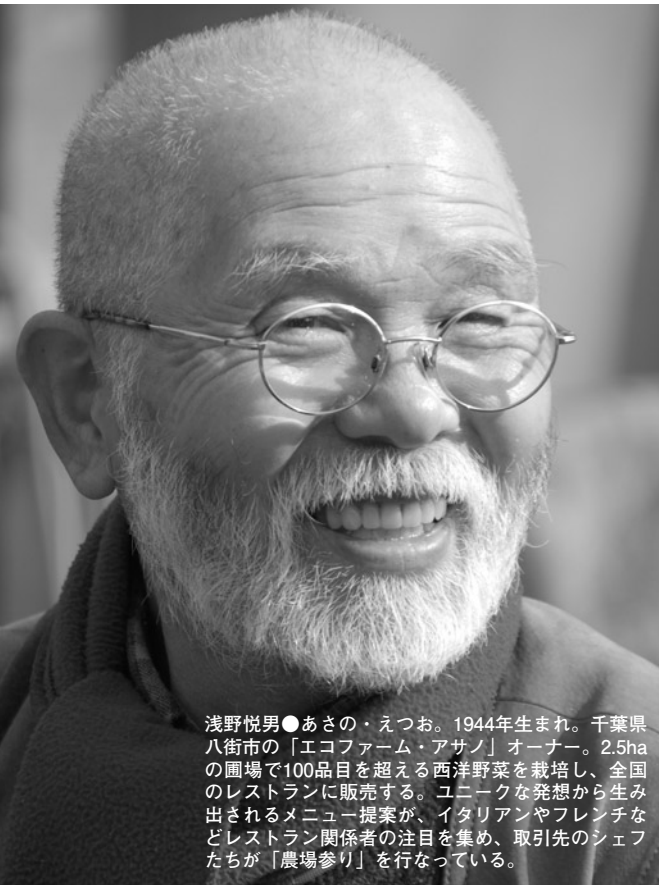
動いてきたから、今じゃすごいじゃん。製造業なんて日本を追い抜いちゃまったじゃんよ。日本はなまじっか国内市場が大きいから、そこに安住してきたけど、韓国は世界を視野に入れてやってきたから、TPPなんか怖くないの。世界の顧客のニーズをちゃんと知ってるのよ。

じゃあ海外のマーケットが日本に何を求めているかって考えてみたら、答えは簡単じゃん。何度も言うように「健康」を求めているの。日本食がヘルシーだとかいって、これだけブームになってるんだよ。だったら、きれいな水でつくられた日本のコメを食べて、味噌汁を飲んで、漬物を食べて、緑茶を飲みましようって、どんどん提案したらいいじゃん。ほかに健康を輸出してる国はないんだから、胸を張って日本の農産物を売り出せばいいじゃんよ。そのための行動をしないうちから、海外の農産物に負けちゃうかもって卑屈になるのが、日本人の悪い癖なの。農家のオヤジも日曜の夜にビールを飲みながら『龍馬伝』見てるんだから、ちよっとは坂本龍馬みたいに日本に誇りを持って世界に目を向けていいんだよ。

いま世の中はどんどん変わって、日本の農産物はもちろん、日本人の海外生産を求める声が増えてるんだ



播種時期が記録的な猛暑と重なったものの、無事収穫にこぎつけたニンジン（写真左・中央）。「猛暑だから良い野菜ができないと思ったら、逆に例年より良かったものもある。その理由はこれから検証していきたいね」と浅野氏。エコファーム・アサノでは落花生を栽培していないが、晩秋の八街ではあちらこちらに落花生の二オ積み風景が広がる（写真右）。もしTPPが発効されることになれば、高関税の落花生に影響が出ることは必至。この風景も変わっていくのかもしれない。



浅野悦男 ●あさの・えつお。1944年生まれ。千葉県八街市の「エコファーム・アサノ」オーナー。2.5haの圃場で100品目を超える西洋野菜を栽培し、全国のレストランに販売する。ユニークな発想から生み出されるメニュー提案が、イタリアンやフレンチなどレストラン関係者の注目を集め、取引先のシェフたちが「農場参り」を行なっている。

# Etsuo Asano's Creative

よ。俺みたいな爺さんのところにさえ、海外から「農地をどれだけ用意すればいい？」っていう話が来るくらいだよ。「必要とあれば浅野さんに来てもらって、いろんな指示がほしい」ってよ。それだけ日本人がつける農産物の需要があるってことじゃん。なのにほとんどの農家は出て行こうとしないでしょ。飛び込むことはもちろん、日本人を迎え入れる態勢がどの国にあつて、どこがやりやすいかってリサーチもしないじゃん。そもそも農協の傘下で国内需要のために生産してる産地は、国から補助金をもらってるから、自由な商売なんかできねえじゃんよ。

だから俺が今考えてるのは、健全なヤクザを育てて農業に参入させれ

ばいいの。それで山口組が中国に進出していけばいいのよ。若い衆を集めて、厳しい指導の下に作物をつくらせるの。だって野球賭博なんかでカスリ取ったって、たかが知れてんだろ？ 狭い日本の中で、法律違反して逃げ隠れしながら商売やっただって、どうしようもないんだから。それよりも中国に進出しちゃったほうがいいじゃん。一般市民に迷惑をかけたらいじゃないよ。

農家だって生き残りたいなら、市場流通から外れることを考えた方がいいよ。大事なのは消費者に何を訴えて、自分の農産物の価値を認めてもらうかよ。生産者と消費者が直接結びついちゃえば、国がどんな政策をとろうが、農産物がよそから来ようが関係ないんだからよ。それで狭いマーケットに執着せずに、大きな視野を持ったらいいのよ。もちろん前提として、ほかで替えのきく農産物じゃ話にならないよ。俺の場合は自分が死んだ後に、取引先から「困ったな」って言われるくらい野菜をつくりたいと思ってる。

今回のTPPの問題は、誰かがどうにかしてくれると思ったら大間違い。まずは自分から動いて道を切り開いていくべきよ。百姓の本質はフロンティア精神なんだからよ。